

コズミックスクール ～太陽光でゆで卵をつくらう～

皆さんは、ソーラークッカーという言葉を知っていますか。その名の通り太陽の光で料理ができる超エコ料理器具です。円錐に近い形の型を作り、そこに反射率の高いシートを貼り付けます。あとは太陽の方向に向けるだけ！太陽の光の集まる場所には、黒く表面を塗装した空き缶に水（入れず



ぎないのがポイント）と生卵を入れて待つこと約30分！素手では持てない位に熱くなった卵はゆで卵に大変身！！

真夏の博物館の屋上は、大変暑く参加者の皆さんも太陽にじりじり調理されながらの活動となりました。汗をタラタラ流しながら食べた、あの卵の味はきっと忘れることのできない、最高の料理になったのではないのでしょうか。



コズミックスクール ～手作りプラネタリウム～

参加応募者数約200人！その中から見事に選ばれた参加者の皆さんとプラネタリウムを作りました。落選になってしまった皆さん、ぜひ次回のコズミックスクールへのご参加お待ちしております。



作り方は、まずは大きな黒い厚紙からはさみやカッターで部品を切り出していきます。そして、星の位置にピンを使って穴を開けていきます。明るい星は、ほかの星よりも少し穴を大きく開けることで星の明るさの違いを出していきます。



完成してから部屋の中を暗くして、スイッチを入れた時には大きな歓声が上がりました。2時間以上も時間をかけて作った自分だけのプラネタリウムをきっかけに、実際の夜空の星や星座に興味を持ってもらえたら嬉しいです。



9月の天文現象は？

22日 金星が最大光度

8月14日に太陽と地球の間に入った金星は、その後、明け方の東の空にまわり、「明けの明星」として姿を見せています。そして、9月22日には、最大光度となり-4.5等の明るさでとても美しく輝きます。早起きの方は、東の空にひときわ目立つ金星がいつまで見られるかチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。最大光度となった金星は驚くほど明るいので、目が良い人は青空の中でも見つけることができます。

19日 宵の南西の空は賑やか！

夏休みの観望会で大人気だった土星は、9月下旬ごろには日が暮れた

あと早い時刻に南西の空へ大きく傾くようになってきます。9月19日は、その土星に上弦に近い月が近づいてきて並ぶ様子が日が暮れて間もない頃に見られます。そこにさそり座の赤く輝く1等星アンタレスも加わってとても賑やかです。晴れていたら、双眼鏡を使って賑やかな南西の空を眺めてみましょう。



中秋の名月 (ちゅうしゅうのめいげつ)

今年の中秋の名月は9月27日です。「中秋の名月」とは、旧暦で8月15日の夜の月のことをいいます。中秋の名月を楽しむ習慣は、平安時代に中国から伝わったといわれています。しばらくは高級貴族たちだけの風習でしたが、江戸時代になると一般庶民にも広まり、親しまれるようになりました。

今年の中秋の名月が9月27日、その翌日が満月と、中秋の名月と満月の日が一日ずれています。

9月28日の月は今年最も大きく見える満月です。月は地球の周りを回る天体ですが、その軌道が楕円をしているため、地球と月の距離は一定ではありません。また、月の軌道は

太陽や地球などの影響を受けて変化するため、距離が毎回異なります。月までの平均距離は約38万kmですが、9月28日午前10時46分に35万6900kmまで近づきます。そして午前11時51分に満月の瞬間を迎えます。日本では残念ながらその時間は月は出ていませんが、天候が良ければ夜にはいつもより大きな満月を楽しむことができます。



2015年 最大の満月
9月28日 11時51分

2015年 最小の満月
3月6日 3時5分

日程変更のお知らせ

次のイベントの開催日が変更になりました。

- 《字幕付き投映》
「黒い太陽のひみつ」
平成28年 平成28年
2月20日(土) → 2月13日(土)
- 《字幕付き投映》
「おじゃる丸」
平成28年 平成28年
2月21日(日) → 2月14日(日)
- 《宇宙塾》
「4年ぶりの日食」
平成28年 平成28年
3月5日(土) → 3月6日(日)

お間違えのないようにご注意ください。

★★観望会★★

《天文ボランティア主催
観望会》

日時：9月19日(土)
19時から20時30分まで
場所：市民公園
内容：月と見頃の星を観察します
*当日の自由参加です
*天候不順の場合は中止
*きらら号は出勤しません



《博物館主催きらら号観望会》

日時：9月26日(土)
18時30分から20時まで
場所：市民公園
内容：お月見をしよう！
*当日の自由参加です
*天候不順の場合は中止
*きらら号は出勤しません



編集後記

日中はまだまだ暑い日が続いていますが、朝晩は少しずつ涼しくなってきました。日が暮れるのもずいぶん早くなり、23日には秋分の日を迎えます。

夜空にはまだ夏の大三角が明るく輝いていますが、東のほうへ目を移すと秋を代表するペガサス座が駆け上がってきています。ゆっくりと夜空を眺めて季節の移り変わりを感じてみてはいかがでしょうか。

